

氏名	張 平平	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	2003年静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程、2006年千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本世代間交流学会、文化看護学会(評議員)、千葉看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日中医学協会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	自主グループにおける高齢者リーダーの継続的な役割遂行に関する要因－介護予防(一次予防事業)の取り組みから－	共著	千葉看護学会誌; 21(2); P.17-23	早坂玉緒、張平平、大塚真理子	2016.2
2	北京市脳卒中病人出院支持护理服务的现状与分析	共著	护理管理杂志; 15(4); P.257-259	廖艳芳、罗永梅、张平平、万巧琴、尚少梅	2015.6
(3) 学会発表					
1	Nursing care for community-dwelling elders: Review of Japanese nursing literature	共著	19th EAFONS(East Asian Forum of Nursing Scholars)、千葉市	○Pingping Zhang, Hiroe Hayashi	2016.3
2	日本における脳卒中高齢者の在宅看護に関する文献研究	共著	第17回埼玉県健康福祉研究発表会、さいたま市	○張平平、林裕栄	2016.1
3	日本における脳卒中リハビリテーション看護教育に関する文献検討	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第6回学術集会、越谷市	○陳思穎、張平平	2015.10
4	中国がん患者の緩和ケアに関する先行文献の検討	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第6回学術集会、越谷市	○葛国靖、張平平、川畑貴美子、常盤文枝、山口乃生子	2015.10
5	地域高齢者と看護学生との世代間交流プログラムの試行	共著	第55回全国国保地域医療学会、さいたま市	○張平平、林裕栄、佐藤秀雄、山下剛史	2015.10
6	日本における地域包括ケアの現状—先行文献の検討を通して—	共著	第55回全国国保地域医療学会、さいたま市	○稲木あい、張平平	2015.10
7	看護学生との世代間交流を体験した地域高齢者の思い	共著	日本老年看護学会第20回学術集会、横浜市	○張平平、林裕栄、善生まり子、丸山優、辻玲子、畔上光代、須賀夏子	2015.6
8	地域高齢者との世代間交流を体験した看護学生の学び	共著	日本老年看護学会第20回学術集会、横浜市	○林裕栄、張平平、善生まり子、丸山優、辻玲子、畔上光代、須賀夏子	2015.6
(4) その他					
1	脳卒中高齢者の在宅療養支援に関する日中共同研究の取り組み	単著	保健医療福祉科学; 5; P43	張平平	2016.3
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	看護学生と地域高齢者との世代間交流プログラムがもたらす効果に関する研究(研究代表者)			2015.4～2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					

1	老年看護学Ⅰ（総論）	2015.10～2015.12	ライフステージの老年期を生きる方々の特徴及び、老年看護の基本について1年次の学生に教授した。また、高齢者への理解を深めるために視聴覚教材を活用した。
2	老年看護学Ⅲ（高齢者と地域）	2016.1	老年看護学実習Ⅱでの体験をもとに地域の視点から高齢者を取りまく社会システム構築の必要性和重要性に対する理解を強化するための授業で、3年次の学生によるグループワークを行った。
3	老年看護援助論	2015.10～2015.11	老年看護の実践と研究との統合を図りつつ、質の高い老年看護援助方法を創出するために博士前期課程の院生を対象に超高齢社会の情勢に応じた老年看護学領域の研究の動向、高齢者理解のための諸理論、高齢者を対象とした先駆的な援助方法について教授した。
(2) 演習			
1	老年看護学Ⅱ（高齢者と家族）	2015.4～2015.8	要介護高齢者を対象とした看護過程が展開される中、活動性が低下した高齢者への移動援助に関する演習を担当した。この演習は3年次の学生を対象に高齢者体験装具を用いて実施した。
(3) 実習			
1	老年看護学実習Ⅰ	2015.4～2015.6	2年次の学生を対象に、2か所の高齢者福祉センターでの実習指導を担当した。学生は地域で生活する元気高齢者への理解が深まったのみならず、地域高齢者を支えるソーシャルサポートに関する認識も強化された。
2	老年看護学実習Ⅱ	2015.10～2015.12	3年次の学生を対象に、回復期リハビリテーション病棟での8週間（4クール）の実習指導を担当した。学生は受け持ち高齢患者への関わりで、看護過程の展開ができ、さらに老年看護の基本的実践能力も養うことができた。
3	総合実習	2015.7	老年看護学領域を希望した4年次の学生を対象に、回復期リハビリテーション病棟での3週間の実習指導を行った。学生達は自分のもつ課題への取り組みができたのみならず、既習知識を活かした集大成も成し遂げられた。
4	IPW実習	2015.4～2016.3	IPW実習科目責任者会で、学生担当として、本学の特色ある授業の展開に務めた。IPW実習中、地域担当者として役割発揮ができた。
(4) 論文指導			
1	卒業課題研究	2015.4～2016.3	3名
(5) その他			
1	老年看護学実習Ⅱ 指導者会議	2015.3.8	老年看護学実習Ⅱに関わった臨地実習指導者と一堂になって、本年度の実習状況の結果報告及び、これからの実習指導に関する協議を行った。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営（委員会委員）			
1	国際交流委員会 委員		
2	IPW実習科目責任者会		
3	中国語広場 顧問		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	2015年度「丸山一郎記念研究・活動奨励賞」受賞 論文題目：地域高齢者が考える最期の迎え方に関する日中比較研究	埼玉県立大学	2016.3.15
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		